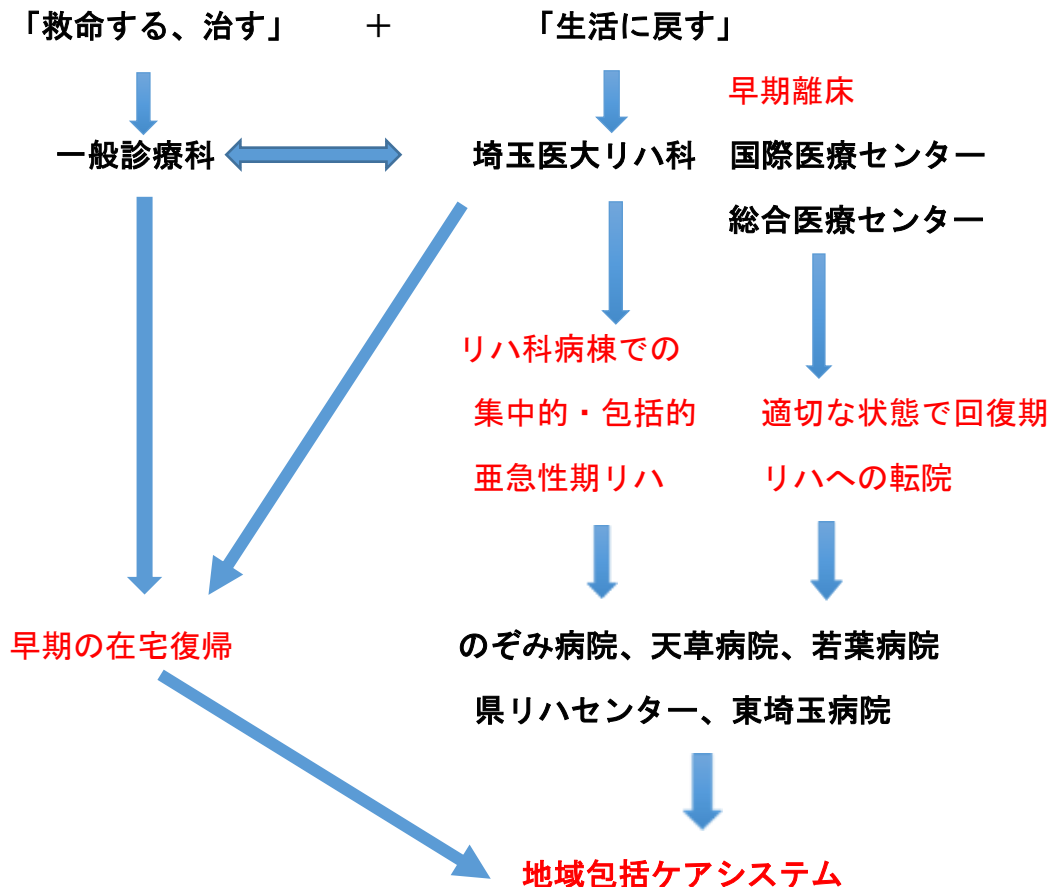


埼玉医科大学リハビリテーション科  
専門研修プログラム冊子

# 埼玉医科大学リハビリテーション科

## 専門研修プログラムが目指すこと

【地域包括ケアを視野に入れた本プログラムの概略図と各施設の役割】



「生活に戻す」事を旗印に掲げ

患者さんの健康を守り

他科医師、関連職種との縦横無尽の連携を駆使して  
地域包括ケアが対応可能な状態にして、地域に戻す

このようなダイナミックな仕事ができる

リハビリテーション科専門医を養成すること

## 埼玉医科大学リハビリテーション科 専門研修プログラムを実施する施設

### 基幹施設

- ・ 埼玉医科大学病院リハビリテーション科

特定機能病院である埼玉医大病院の中に、**リハビリテーション科が25床の独立した病棟（一般病棟）を有し、急性期を脱した患者さんに対する集中的・包括的亜急性期リハを、担当医として研修できます。**

### 連携施設

#### 【急性期病院】

- ・ 埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科
- ・ 埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科

**急性期リハビリテーションの研修は、埼玉医大病院群の国際医療センターリハ科、総合医療センターリハ科で行われます。この中でも、国際医療センターは救命救急センター、心臓センター、がんセンターから成り、脳卒中、心臓病の急性期リハとがんのリハを集中的に研修できますが、特に心臓リハは我が国では屈指のレベルを誇っています。総合医療センターでは周産期センターを有していることが大きな特徴で、NICUから重度障害児施設までのリハシステムを研修可能です。**

## 【回復期病棟】

- ・ 希望病院リハビリテーション科
- ・ 天草病院リハビリテーション科
- ・ 埼玉県総合リハビリテーションセンター
- ・ 独立行政法人東埼玉病院
- ・ 若葉病院リハビリテーション科

本プログラムでは、回復期リハ病棟を有する5施設でのプログラムが用意されています。**希望病院、天草病院は本県での回復期リハ病棟の草分け**であり、ともに地域包括ケアへ向けてのシステムを研修可能です。

**埼玉県総合リハセンターでは、脊髄損傷に対するリハを集中的に研修**します。また、本センターでは**職業復帰支援事業**を展開しており、障害者の社会復帰の過程も研修可能です。

**東埼玉病院では、他のプログラムではまれな神経・筋疾患のリハが研修**可能です。

**若葉病院は、埼玉医大病院群との密接な連携をもとに、回復期早期からのリハビリテーションを展開**しています。埼玉医大病院群で**急性期治療を受けた患者さん**が、その後どのような経過を辿って**地域包括システムに移行**していくかを研修可能です。

## 【こどもの療育】

- ・ 光の家療育センター

本プログラムでのもう一つの特徴としては、**肢体不自由施設である光の家療育センター**で、おそらく全国でも数少ない、**こどものリハビリテーションを集中的に研修が可能**な点があげられます。

## 埼玉医科大学リハビリテーション科専門研修

### プログラムでの研修施設ローテーション

1年目は埼玉医大病院群で、急性期～亜急性期リハの研修を行い、2年目～3年目前半で、回復期リハならびにこどものリハを研修し、最後の6ヶ月は埼玉医大病院リハ科で、総括的な研修を行ないます。専攻医の募集人数は2名/年としていますので、埼玉医大病院リハ科では2名同時の研修となりますが、それ以外の施設では、専攻医が全ての連携施設で研修が可能となるように、各連携施設では1名ずつの研修となり、かなり密な指導が可能となります。

1年目 通年	2年目通年	3年目 通年
埼玉医科大学病院リハビリテーション科	埼玉県総合リハセンター または東埼玉病院	回復期リハ病棟（若葉病院） または光の家療育センター
埼玉医科大学病院リハビリテーション科	埼玉県総合リハセンター または東埼玉病院	回復期リハ病棟（若葉病院） または光の家療育センター
埼玉医大国際医療センター または総合医療センター	回復期リハ病棟 （希望病院または天草病院）	埼玉医科大学病院リハビリテーション科
埼玉医大国際医療センター または総合医療センター	回復期リハ病棟 （希望病院または天草病院）	埼玉医科大学病院リハビリテーション科

埼玉医科大学リハビリテーション科研修 PG の専門研修施設群は埼玉県の西部と東部にあります。埼玉医科大学病院群/光の家療育センター /若葉病院リハビリテーション科は西部地区にあります。また、希望病院リハビリテーション科/天草病院リハビリテーション科/埼玉県総合リハビリテーションセンター/独立行政法人東埼玉病院（回復期病棟）は東部地区にあります。西部地区と東部地区の中継地点として川越市があります。川越市に居を構えれば、小江戸の風情を楽しみつつ、研修施設のいづれにも公共交通機関または自家用車を用いて十分

に通勤可能です。また、以下に示す年間行事を本プログラムとして行いますので、その際の各施設同士のアクセスも比較的容易に可能です。

埼玉医科大学病院リハビリテーション科研修 PG に関連した全体行事の年度スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ SR1: 研修開始。研修医および指導医に提出用資料の配布（埼玉医科大学病院ホームページ）</li> <li>▪ 指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出</li> <li>▪ SR3 修了者：専門医認定一次審査書類を日本専門医機構リハビリテーション科研修委員会へ提出</li> <li>▪ 研修 PG 管理委員会開催</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本リハビリテーション医学会学術集会参加（発表）（開催時期は要確認）</li> <li>▪ 埼玉医科大学病院リハビリテーション科研修 PG 参加病院による勉強会（症例検討・予演会 1/3M）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ SR3 修了者：専門医認定二次審査（筆記試験、面接試験）</li> <li>▪ 埼玉県リハビリテーション医学会学術集会参加</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 埼玉医科大学病院リハビリテーション科研修 PG 参加病院による勉強会（症例検討・予演会 1/3M）</li> <li>▪ 日本リハビリテーション医学会関東地方会参加（発表）</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ SR1、SR2、SR3：指導医による形成的評価とフィードバック（半年ごと）</li> <li>▪ 次年度専攻医募集開始（埼玉医科大学病院ホームページ）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会（発表）</li> </ul>
1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ SR1、SR2：次年度研修希望施設アンケートの提出（研修 PG 管理委員会宛）</li> <li>▪ 次年度専攻医内定</li> </ul>
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本リハビリテーション医学会学術集会演題公募（12～1月） （詳細は要確認）</li> <li>▪ 埼玉医科大学病院リハビリテーション科研修 PG 参加病院による勉強会 （症例検討・予演会 1/3M）</li> <li>▪ 埼玉県リハビリテーション医学会学術集会参加</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 埼玉医科大学病院リハビリテーション科研修 PG 参加病院による勉強会 （予演会）</li> <li>▪ 埼玉県医学会総会参加（発表）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ その年度の研修終了</li> <li>▪ 研修 PG プログラム連携委員会開催（研修施設の上級医・専門医・専門研修指導医・多職種の評価を総括）</li> <li>▪ SR1、SR2、SR3：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成 （年次報告）</li> <li>▪ SR1、SR2、SR3：研修 PG 評価報告用紙の作成</li> <li>▪ 指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成 （書類は SR1、SR2 分は翌月に提出、SR3 分は当月中に提出）</li> <li>▪ 研修 PG 管理委員会開催（SR3 研修終了の判定）</li> <li>▪ 埼玉医科大学病院研修 PG 参加病院による勉強会（症例検討・予演会 研修発表会を兼ねる、1/3M）</li> <li>▪ 日本リハビリテーション医学会関東地方会参加（発表）</li> </ul>

## 専攻医の採用と修了について

### 採用方法と採用人数

埼玉医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月から病院ホームページでの広報や研修説明会等を行い、リハビリテーション科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、定められた締め切りまでに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『埼玉医科大学病院リハビリテーション科専門研修 PG 応募申請書』および履歴書、医師免許証の写し、保険医登録証の写し、を提出してください。 **採用人数は、2名/年**です。

### 申請書は

- (1) 機構専門医 web ページで申請・登録していただくこととなります。  
現在専攻医申請・登録ページは準備中です。
- (2) 電話で問い合わせ (049-276-1255)
- (3) email わせ ([majima@saitama-med.ac.jp](mailto:majima@saitama-med.ac.jp))

原則として11月中に書類選考および面接を行います。採否については、12月に決定して本人に文書で通知します。

それでは、魅力満載の埼玉医科大学リハビリテーション科専門研修プログラムで、ともに勉強し、わが国のリハビリテーション医学を背負って立つリハビリテーション科専門医となりましょう。